

Microsoft System Center Operations Manager および System Center Essentials 向け Dell Client Management Pack バージョン 5.0 ユーザーズガイド

メモ、注意、警告

 **メモ:** コンピュータを使いやすくするための重要な情報を説明しています。

 **注意:** ハードウェアの損傷やデータの損失の可能性を示し、その問題を回避するための方法を説明しています。

 **メモ:** 物的損害、けが、または死亡の原因となる可能性があることを示しています。

© 2013 Dell Inc. 無断転載を禁じます。

本書に使用されている商標 : Dell™、Dell のロゴ、Dell Boomi™、Dell Precision™、OptiPlex™、Latitude™、PowerEdge™、PowerVault™、PowerConnect™、OpenManage™、EqualLogic™、Compellent™、KACE™、FlexAddress™、Force10™、Venue™ および Vostro™ は Dell Inc. の商標です。Intel®、Pentium®、Xeon®、Core® および Celeron® は米国およびその他の国における Intel Corporation の登録商標です。AMD® は Advanced Micro Devices, Inc. の登録商標、AMD Opteron™、AMD Phenom™ および AMD Sempron™ は同社の商標です。Microsoft®、Windows®、Windows Server®、Internet Explorer®、MS-DOS®、Windows Vista® および Active Directory® は米国および/またはその他の国における Microsoft Corporation の商標または登録商標です。Red Hat® および Red Hat® Enterprise Linux® は米国および/またはその他の国における Red Hat, Inc. の登録商標です。Novell® および SUSE® は米国およびその他の国における Novell, Inc. の登録商標です。Oracle® は Oracle Corporation またはその関連会社、もしくはその両者の登録商標です。Citrix®、Xen®、XenServer® および XenMotion® は米国および/またはその他の国における Citrix Systems, Inc. の登録商標または商標です。VMware®、vMotion®、vCenter®、vCenter SRM™ および vSphere® は米国またはその他の国における VMware, Inc. の登録商標または商標です。IBM® は International Business Machines Corporation の登録商標です。

1 概要	4
本リリースの新機能	4
Dell Client Management Pack の主要機能	4
Dell Client Management Pack について	5
Dell Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細	5
対応 Dell クライアントシステム	5
対応オペレーティングシステム	6
Management Systems の対応オペレーティングシステム	6
管理下システムの対応オペレーティングシステム	6
2 Dell Client Management Pack の操作	7
ウェブコンソール	7
検出とグループ化	7
Dell クライアントの検出	7
Dell ハードウェアの検出とグループ化	8
Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクト	8
監視	9
正常性状態インジケータ	9
ビュー	10
タスク	12
クライアントの再起動とシャットダウン	12
Dell クライアントシステム用 Remote Desktop の起動	12
レポート	12
レポートへのアクセス	12
OpenManage Windows イベントログ	12
Dell Client System Management Pack のカスタマイズ	13
ユニット監視	13
オブジェクト検出	14
ルール	15
OMCI 上書きプロパティ	15
3 関連文書およびリソース	16
Operations Manager 2007 R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン	16
その他の必要マニュアル	16
デルへのお問い合わせ	16
4 トラブルシューティング	17

概要

Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、System Center Operations Manager 2007 R2、または System Center Essentials (SCE) 2010 向け Dell Client Management Pack バージョン 5.0 は、Dell クライアントシステムの可用性の管理と監視を可能にします。

注意: データの破壊および / または損失を避けるため、本書の手順は **Microsoft Windows** オペレーティングシステムと **System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、System Center Operations Manager 2007 R2、および System Center Essentials 2010** の使用における適切な知識と経験をお持ちの場合にのみ実行してください。

メモ: 自己解凍型実行ファイル `Dell_Client_Management_Pack_v5.0_A00.exe` に含まれている `readme` ファイルには、ソフトウェアおよび管理ステーション要件についての最新情報、および既知の問題についての情報が記載されています。最新の `readme` ファイルは、dell.com/support/manuals からご利用いただけます。

メモ: 特に指定のない限り、本ガイドにおける OpsMgr という呼称は、すべて **System Center 2012 R2 Operations Manager、System Center 2012 SP1 Operations Manager、System Center 2012 Operations Manager、System Center Operations Manager 2007 R2、および System Center Essentials 2010** に適用されます。

トピック：

- ・ 本リリースの新機能
- ・ Dell Client Management Pack の主要機能
- ・ Dell Client Management Pack について
- ・ 対応 Dell クライアントシステム
- ・ 対応オペレーティングシステム

本リリースの新機能

Dell Client Management Pack バージョン 5.0 は次をサポートします。

- ・ 最新の Dell クライアントプラットフォームおよび OMCI バージョン
- ・ Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager
- ・ 管理サーバーオペレーティングシステムとしての Microsoft Windows 2012 R2
- ・ OMCI 8.1.1 搭載の Microsoft Windows 8

Dell Client Management Pack の主要機能

次の表は、Dell Client Management Pack バージョン 5.0 の主要機能と機能性をリストしています。

表 1. 機能と機能性

機能	機能性
検出	対応 Windows オペレーティングシステムを実行する Dell Precision、Dell Latitude、および Dell OptiPlex クライアントシステムの帯域内検出をサポートします。 メモ: Dell Client Management Pack バージョン 5.0 は、Dell Vostro クライアントシステム、OMCI サービス無しのクライアントシステム、8.0 より前の OMCI バージョン、および OMCI サービスが停止または無効化された Dell クライアントシステムを Dell 管理対象外クライアントとしてグループ化します。

機能	機能性
監視	Dell クライアントシステムの正常性監視、およびプロセッサ、OMCI サービス、センサー、およびストレージのインスタンスレベルの正常性情報をサポートします。
Remote Desktop の起動	OpsMgr コンソールを介してクライアントシステムの Remote Desktop を起動します。
クライアントのシャットダウンおよび再起動	OpsMgr コンソールを介した Dell クライアントシステムのシャットダウンおよび再起動タスクをサポートします。
ハードウェア正常性ロールアップ	Windows Computer Health へのクライアントハードウェア正常性ロールアップを提供します。詳細については、「 Dell Client Hardware Health ロールアップの表示 」を参照してください。

Dell Client Management Pack について

次の表では、Management Pack とユーティリティ、およびそれらの相互依存性について説明します。

表 2. Management Pack の機能性と相互依存性

Management Pack/ ユーティリティ	説明	依存関係
Base Folder Utility	OpsMgr コンソールの 監視 ペインで、Dell ハードウェアグループと Dell フォルダを定義します。	なし
Dell Windows Client Management Pack 5.0	対応 Dell クライアントシステムとそのコンポーネントのための検出、監視、およびアラート管理を行います。	Base Folder Utility 4.0

Dell Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細

次の表に、Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細を記載します。

表 3. Management Pack によってモデル化されたコンポーネントの詳細

Management Pack	コンポーネント詳細
Dell Windows Client Management Pack バージョン 5.0 (Dell.WindowsClient.mp)	Dell クライアントシステムのすべてのハードウェアコンポーネントを表示し、コンポーネントグループレベルまでの監視を行います。 クライアントダイアグラムビュー には、次の各コンポーネントの正常性が表示されます。 ・ OMCI サービス ・ プロセッサ ・ センサー ・ ストレージ

対応 Dell クライアントシステム

Dell Client Management Pack バージョン 5.0 は次の Dell クライアントシステムをサポートします。

- ・ Optiplex
- ・ Dell Precision
- ・ Latitude
- ・ 対応クライアント Windows オペレーティングシステムを実行する Vostro システム。

① | メモ: Vostro システムは Dell 管理対象外クライアント に分類されます。

対応オペレーティングシステム

Management Systems の対応オペレーティングシステム

対応オペレーティングシステムのリストについては、OpsMgr 2012/SP1/R2 用管理サーバー向けは technet.microsoft.com/en-us/library/hh205990.aspx、および OpsMgr 2007 用管理サーバー向けは [technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428\(en-us\).aspx](http://technet.microsoft.com/en-us/library/bb309428(en-us).aspx) を参照してください。

管理下システムの対応オペレーティングシステム

Dell Client Management Pack バージョン 5.0 は以下のオペレーティングシステムに対応しています。

- Windows 8 Professional x86 (32 ビット) Edition
- Windows 8 Professional x86 (64 ビット) Edition
- Windows 8 Enterprise x86 (32 ビット) Edition
- Windows 8 Enterprise x86 (64 ビット) Edition
- Windows 7 Professional x86 (32 ビット) Edition
- Windows 7 Professional x64 (64 ビット) Edition
- Windows 7 Ultimate x86 (32 ビット) Edition
- Windows 7 Ultimate x64 (64 ビット) Edition
- Windows Vista Ultimate SP1
- Windows Vista Ultimate SP1 x64 Edition
- Windows Vista Business SP1
- Windows Vista Business SP1 x64 Edition
- Windows Vista Enterprise SP1
- Windows Vista Enterprise SP1 x64 Edition
- Windows XP Professional SP2
- Windows XP Professional x64 Edition SP2
- Windows XP Professional x86 (32 ビット) Edition SP3 搭載
- Windows XP Professional x64 (64 ビット) Edition SP3 搭載
- Windows XP Tablet PC Edition

Dell Client Management Pack の操作

本章では、Dell Client Management Pack バージョン 5.0 を使用して Microsoft System Center 2012 R2 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 SP1 Operations Manager、Microsoft System Center 2012 Operations Manager、Microsoft System Center Operations Manager 2007 R2、および Microsoft System Center Essentials 2010 で実行できる各種操作についての情報を説明しています。

Client Management Pack は、Dell クライアントシステムを管理するための、次の操作を可能にします。

- ・ 対応クライアント Windows オペレーティングシステムを実行する Dell Latitude、Dell Precision、Dell OptiPlex、および Dell Vostro コンピュータの検出。

 **メモ:** Vostro システムは、Dell 管理対象外クライアント グループに表示されます。

- ・ Dell OpenManage Client Instrumentation OMCI 8.0、OMCI 8.0.1、および OMCI 8.1 サービスの監視。
- ・ 計装なしの Dell クライアント、および OMCI サービスなしで実行されているクライアントシステムの **Dell 管理対象外クライアント** グループへのグループ化。
- ・ 定期的にポーリングを行うことによる、クライアントハードウェアコンポーネントの正常性状態の監視、およびダイアグラムビューでの各コンポーネントの状態のアップデート。正常性状態とは、コンポーネント、システム、またはサービスの機能パフォーマンスの標準化された表現です。詳細については、「[タスク](#)」を参照してください。
- ・ クライアントシャットダウンと再起動タスクの実行。
- ・ Dell クライアントシステム用リモートデスクトップの起動。
- ・ Dell Windows イベントログ、および管理下システムの Windows イベントログからの OMCI イベントについてのレポート生成。

トピック：

- ・ [ウェブコンソール](#)
- ・ [検出とグループ化](#)
- ・ [監視](#)
- ・ [タスク](#)
- ・ [レポート](#)
- ・ [Dell Client System Management Pack のカスタマイズ](#)

ウェブコンソール

ウェブコンソールでは、OpsMgr コンソールの代わりにブラウザを使用した Dell Client Management Pack 装備の Dell デバイスの監視および管理が可能になります。ウェブコンソールは OpsMgr コンソールをインストールしなくても使用できます。ウェブコンソールには次の制限があります。

- ・ 全 Management Pack に **監視** 機能のみを提供する。
- ・ コンソール起動タスクは使用不可。
- ・ **カスタマイズ** ビューは使用不可。

検出とグループ化

Dell クライアントの検出

ネットワーク内の Dell クライアントシステムを検出するには、デバイスが OpsMgr コンソールの **管理** セクションにある **エージェント管理対象** ビューに表示されていることを確認してください。お使いの実装の必要を満たすため、上書きを使用して、特定の Dell ハードウェアの検出および監視間隔を長くしたり短くすることができます。

クライアント検出プロセスは、次の3つの条件のいずれかを満たすシステムを、**Dell 管理対象外クライアント** として分類します。

- ・ Dell クライアントシステムに OMCI の最低必須バージョン (8.0) がインストールされていない。
- ・ クライアント計装 (OMCI) サービスが無効化されているか、実行されていない。
- ・ クライアントシステムが Vostro システムである。

Dell クライアントシステムの追加

- エージェント管理対象 リストに Dell クライアントシステムを追加するには、次の手順を実行します。
- OpsMgr 管理グループ用の OpsMgr システム管理者役割を持つアカウントで、システムにログインします。
 - OpsMgr コンソールで **管理** をクリックします。
 - 管理** ペイン下部の **検出ウィザード** をクリックします。
コンピュータおよびデバイス管理ウィザード 画面が表示されます。
 - 画面の説明を読んでから、**次へ** をクリックします。
 - Dell クライアントシステムを検出するには、**詳細検出** オプションを選択します。
 - コンピュータおよびデバイスクラス ドロップダウンリストで **クライアントのみ** を選択します。
 - 次へ** をクリックします。
検出方法 画面が表示されます。
 - 次の 2 つのオプションのいずれかを選択します。
 - Active Directory をスキャン** — Active Directory から選択したオブジェクトを指定できます。
 - 設定** をクリックして、スキャンするオブジェクトを検索するためのクエリを作成します。
 - ドメイン ドロップダウンリストから、検出するオブジェクトがあるドメインを選択します。
 - コンピュータ名を参照、または入力** — 検出する Dell クライアントの名前を参照、または入力できます。参照をクリックしてネットワーク上のシステムを検索するか、検出するシステムの名前を入力します。
 - 次へ** をクリックします。
システム管理者アカウント ページが表示されます。
 - 次の 2 つのオプションのいずれかを使用して、スキャンするコンピュータでシステム管理者権限を持つユーザーアカウントを指定します。
 - 選択した管理サーバー処置アカウントを使用する** - 既存の管理サーバー処置アカウントをシステム管理者アカウントとして使用できることを示します。
 - その他のユーザーアカウント** — 既存の管理サーバー処置アカウント以外の任意のアカウントを指定できることを示します。ユーザー名、パスワード、およびアカウントが存在する **ドメイン** を指定します。
 **メモ:** ドメインアカウントではなくローカルアカウントです を選択した場合は、ドメイン名の代わりに **コンピュータ名** を指定する必要があります。
 - 検出** をクリックします。
管理するオブジェクトの選択 ページに、選択した Dell クライアントシステムのリストが表示されます。
 - 管理する Dell クライアントシステムを選択して、**次へ** をクリックします。
 - エージェントインストールディレクトリ のパス、エージェント**処置**アカウント の資格情報を指定し、**終了** をクリックします。

Dell ハードウェアの検出とグループ化

次の表は、Dell Client Management Pack によるハードウェア検出とグループ化の詳細をリストしています。

表 4. Dell ハードウェアの検出とグループ化

分類	OpsMgr コンソールでのグループ名	ハードウェアタイプ
Dell Windows	Dell 管理下	Dell クライアントシステム： - Latitude - Dell Precision - Optiplex
	Dell 管理対象外	Vostro クライアントシステム

Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクト

次の表は、Dell Client Management Pack によって検出されたオブジェクトの詳細を示します。

表 5. Dell オブジェクト検出

検出オブジェクト	説明
Dell 管理下クライアントグループ群検出	Dell 管理下グループと共に Dell ビジネスクライアントが対応するすべてのモデルを検出します。
Dell クライアント検出	サポートされている Dell Product Instrumentation を備える Dell ビジネスクライアントが対応するすべてのモデルを検出します。
Dell クライアントのハードウェアコンポーネント検出	プロセッサ、センサー、およびストレージを含むすべての Dell クライアントコンポーネントを検出します。
サービス検出	Dell OpenManage Client Instrumentation Service を検出します。
Dell ハードウェアグループ群検出	Dell クライアントグループの Dell ハードウェアグループを検出します。
管理対象外クライアントグループ群検出	Dell Instrumentation がないか必要な Instrumentation より古いバージョンである、または OMCI サービスが無効化または停止されているかのいずれかによって、監視されていない Dell ビジネスクライアントを持つ Dell 管理対象外グループを検出します。
Dell クライアントグループ群検出	管理下および管理対象外クライアントグループを持つ Dell クライアントグループを検出します。

監視

Dell Client Management Pack バージョン 5.0 では、検出された Dell クライアントシステムの監視が可能です。正常性状態インジケータは、ネットワーク上にあるお使いの Dell クライアントシステムの正常性監視に役立ちます。

正常性状態インジケータ

次の表は、検出された Dell クライアントシステムの正常性状態を示す OpsMgr コンソールのアイコンをリストしています。重大度伝達の詳細については、「[状態ビュー](#)」を参照してください。

アイコン	重大度レベル
	正常 / OK — コンポーネントは期待どおりに動作しています。
	警告 / 非重要 — プローブまたはその他の監視デバイスが、許容レベル以上または以下の読み取り値のコンポーネントを検出しました。コンポーネントが引き続き動作している場合もありますが、故障する可能性があります。正常な機能が損なわれた状態でコンポーネントが動作している可能性もあります。
	重要 / 障害 / エラー — コンポーネントが故障しているか、故障が差し迫った状態です。コンポーネントに対して迅速な対応が必要で、交換が必要な場合もあります。データ損失が発生している可能性があります。
	特定のコンポーネントが監視されていません。
	サービスを利用できません。

ビュー

次のビューを使用して Dell クライアントシステムを監視できます。

- ・ アラートビュー
- ・ ダイアグラムビュー
- ・ 状態ビュー

アラートビュー

アラートビューには、監視しているシステムで実行されている OMCI サービスから受信されたイベントのアラートが表示されます。監視中のシステムのアラートを表示するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、種々のビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **アラートビュー** > **クライアントアラート** とクリックします。
OpsMgr コンソールが、監視しているすべての Dell クライアントシステムのアラートを **クライアントアラート** ペインに表示します。割り当てられた重大度、解決状態、またはアラートなど、OpsMgr コンソールの **オーサリング** ペインで指定した基準に合うアラートを表示することができます。
4. **アラート詳細** ペインで詳細を表示するアラートを選択します。

ダイアグラムビュー

ダイアグラムビューは、OpsMgr が管理するネットワーク上の全 Dell クライアントを、階層式および図形表現で示します。Dell Windows Client Management Pack には次のビューがあります。

- ・ クライアントダイアグラム
- ・ 完全ダイアグラムビュー

クライアントダイアグラムビュー

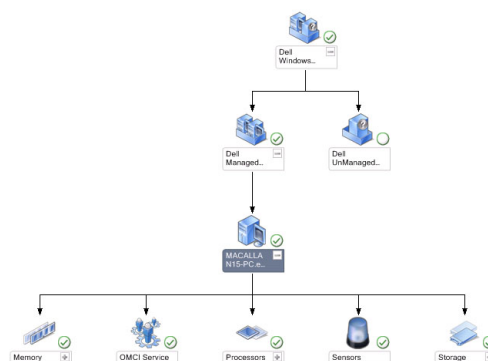


図 1. OpsMgr で管理されている Dell クライアントシステムの図形表現

クライアントダイアグラムにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、種々のビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **ダイアグラムビュー** > **クライアントダイアグラム** の順にクリックします。
クライアントダイアグラム は、OpsMgr が管理する Dell クライアントシステムすべての図形表現を提供します。このダイアグラムでは、個々のシステムおよびそれらのコンポーネントを展開して、状態を確認できます。このビューのルートノードは **Dell Windows クライアント グループ** です。このビューでは、**Dell クライアント** の詳細を表示できます。
4. ダイアグラムでコンポーネントを選択し、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。OMCI サービスの他、Dell クライアントの次のハードウェアコンポーネントの詳細も表示できます。
 - ・ メモリ
 - ・ プロセッサ
 - ・ センサー
 - ・ 保管時

完全ダイアグラムビュー

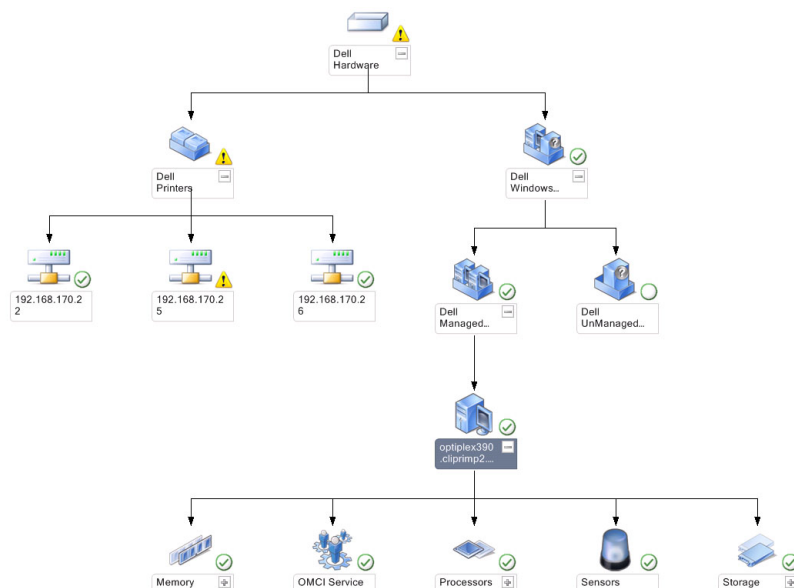


図 2. 全 Dell デバイスの図形表現

完全ダイアグラムビューにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、種々のビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **ダイアグラムビュー** > **完全ダイアグラムビュー** の順にクリックします。
完全ダイアグラムビューには、OpsMgr が管理するすべての Dell デバイスが図示されます。このダイアグラムでは、個々のデバイスおよびそれらのコンポーネントを展開して、状態を確認できます。完全ダイアグラムビューを使用して、**Dell クライアント** および **Dell 管理対象外** の詳細を表示することができます。
4. ダイアグラムで、**詳細ビュー** ペインで詳細を表示するコンポーネントを選択します。

Dell Client Hardware Health ロールアップの表示

Windows Computer Health にロールアップされた Dell Client Hardware Health を表示することができます。Dell Client Hardware Health ロールアップを表示するには、次の手順を実行します。

1. 操作コンソールで **マイワークスペース** をクリックします。
2. **お気に入りビュー** を右クリックし、ポップアップメニューから、**新規** > **ダイアグラムビュー** の順に選択します。
ダイアグラムビューの作成ウィンドウが表示されます。
3. **名前** テキストボックスに希望の名前を入力します。
4. **説明** テキストエリアに希望の説明を入力します。
5. **ターゲットの選択** セクションで **参照** をクリックします。
オブジェクトの選択ウィンドウが表示されます。
6. オブジェクトの選択ウィンドウで、**次を探す** ドロップダウンリストから **すべての Windows コンピュータ** を選択し、**検索** をクリックします。
7. **追加** をクリックし、次に **OK** をクリックします。
8. テンプレートから **選択** セクションで、ドロップダウンリストから **クライアントダイアグラム** を選択します
9. **作成** をクリックします

状態ビュー

状態ビュー は、お使いのネットワーク上で OpsMgr によって管理されている、各 Dell デバイスの状態を表示します。Dell Client Management Pack は、ネットワーク上の Dell クライアントシステムの正常性を監視するために役に立つ、重大度レベルインジケータのリストを提供します。

状態ビューへのアクセス

状態ビューにアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **監視** をクリックします。
2. 左側の **監視** ペインで、**Dell** フォルダに移動し、別のビューを表示するフォルダをクリックします。
3. **状態ビュー** > **クライアント** とクリックします。
OpsMgr コンソールでは、監視しているすべての Dell クライアントシステムの状態が右ペインに表示されます。
4. 状態を選択して、**詳細ビュー** ペインに詳細を表示します。

タスク

タスクは OpsMgr コンソールの **処置/タスク** ペインで使用できます。**ダイアグラムビュー** または **状況ビュー** でクライアントシステムを選択すると、関連タスクが **アクション/タスク** ペインに表示されます。

クライアントの再起動とシャットダウン

クライアントを再起動またはシャットダウンするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**状態ビュー** または **ダイアグラムビュー** のいずれかに移動します。
2. 検出された任意の Dell クライアントシステムを選択します。
3. **処置/タスク** ペインで、**クライアント再起動** または **クライアントシャットダウン** のいずれかをクリックします。
タスクの実行画面が表示されます。
4. **実行** をクリックします。

Dell クライアントシステム用 Remote Desktop の起動

クライアントシステム用の Remote Desktop を起動するには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**ダイアグラムビュー** または **状態ビュー** のいずれかに移動します。
2. 検出された任意の Dell クライアントシステムを選択します。
3. **処置/タスク** ペインの **Dell クライアントインスタンス** タスクにある **Remote Desktop の起動** をクリックします。
クライアントシステム用の Remote Desktop が起動されます。

レポート

Dell Client Management Pack バージョン 5.0 ではレポート機能が利用できます。イベント分析レポートには、選択した Dell Windows クライアントシステムのイベント時間、ログ記録、および OMCI イベントの状態（重大度）が表示されます。

レポートへのアクセス

 **メモ:** クライアントインスタンスをクリックして、ダイアグラムビュー から レポート にアクセスすることもできます。**Dell** レポート のオプションは、デフォルト **Microsoft** レポートとともに、**処置/タスク** ペインの **Dell** システムインスタンスレポート下にあります。

レポート機能にアクセスするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインの **レポート** を展開します。
3. **Windows イベントログ用 Dell クライアント** をクリックします。

OpenManage Windows イベントログ

1. OpsMgr コンソールで **レポート** をクリックします。
2. ナビゲーションペインの **レポート** を展開します。
3. **Windows イベントログ用 Dell クライアント** をクリックします。

4. **処置 / タスク** ペインで **開く** をクリックします。
5. レポートを生成する期間を選択します。
6. オブジェクトの**追加** または **グループの追加** をクリックします。
7. オブジェクトまたはグループを検索するには、**検索** をクリックします。
8. 単一または複数のオブジェクトを追加するには、**追加** を選択します。
選択したオブジェクトペインにそのオブジェクトが表示されます。
9. レポートを生成するイベントの重大度を選択します。
10. **実行** をクリックして、Windows イベントログレポートを生成します。

Dell Client System Management Pack のカスタマイズ

クライアントシステムで Dell Client Management Pack を使用することにより、次が可能になります。

- ・ 検出のカスタマイズ
- ・ デバイス正常性の監視
- ・ イベント処理の管理
- ・ 上書きを使用した、OpsMgr オペレータの特定の Dell ハードウェア管理ニーズに合わせた、間隔の増減。

Dell Client Management Pack の次のコンポーネントをカスタマイズできます。

- ・ **監視** - 監視対象オブジェクト内で発生する可能性のある様々な状態を評価します。この評価の結果が、ターゲットの正常性状態と生成されるアラートを決定します。
- ・ **オブジェクト検出** - 監視が必要なネットワーク上のオブジェクトを見つけます。
- ・ **ルール** - 管理下オブジェクトによって生成されたイベントなどのデータを収集します。

ユニット監視

次の表は、クライアントシステムの各種 Dell ユニット監視および該当するパラメータについての情報を提供します。

表 6. Dell Client Management Pack の Dell ユニット監視

グループ	ユニット監視名	デフォルトの定期ポーリング設定
OMCI サービスインスタンス	定期的	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのメモリグループ	定期的	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントのプロセッサグループ	定期的	3600 秒 (60 分)
プロセッサユニットのインスタンス	定期的	3600 秒 (60 分)
Dell クライアントシステムのセンサー	定期的	3600 秒 (60 分)
・ バッテリ		
・ ファン		
・ インタルージョン		
・ 温度		
Dell クライアントのストレージグループ	定期的	3600 秒 (60 分)
ディスクユニットインスタンス	定期的	3600 秒

(60 分)

① **メモ:** シャーシドアが取り外された、または閉じられた時には、OMCI がシャーシイベントを生成します。シャーシイベントの有効化、無効化、およびクリアについての詳細は、Dell クライアントシステムのオーナーズマニュアルでシステムセットアップ (BIOS) を参照してください。

① **メモ:** メモリの監視は、グループレベルのみで可能です。

ユニット監視のカスタマイズ

上書きを使用することで、Dell Client Management Pack のユニット監視の次のパラメータをカスタマイズできます。

- ・ **有効** — 監視を有効化または無効化することができます。上書き設定を **正** または **誤** に設定できます。デフォルト設定は **正** です。
- ・ **間隔秒数** — Server Management Pack がコンポーネントの正常性を確認するために、Dell デバイスをポーリングする頻度 (秒数) です。デフォルトは 3600 秒 (60 分) です。

ユニット監視は、間隔秒数で設定された定期的なポーリングによってトリガされます。

オブジェクト検出

表 7. Dell 検出オブジェクト

検出オブジェクト	説明	グループ
Dell クライアントシステムのハードウェアコンポーネントの検出	お使いのシステムのディスク、メモリ、センサー、プロセッサを検出します。	Dell クライアント Dell クライアントインスタンス Dell クライアントのハードウェアコンポーネント Dell クライアントのストレージグループ ディスクユニットインスタンス Dell クライアントのメモリグループ Dell クライアントのプロセッサグループ プロセッサユニットのインスタンス Dell クライアントのセンサーグループ
OMCI サービス検出	OMCI サービスを検出します。	Dell クライアント Dell クライアントインスタンス Dell クライアントのサービス OMCI サービスインスタンス

オブジェクト検出のカスタマイズ

上書きを使用して、以下の Dell Client Management Pack 検出パラメータをカスタマイズできます。

- ・ **有効** — 検出を有効化または無効化することができます。上書き設定を **正** または **誤** に設定できます。デフォルト設定は **正** です。
- ・ **秒間隔** — Dell Management Pack がお使いの Dell クライアントシステムのコンポーネントインスタンスおよび属性を検出する頻度を、秒数で指定します。この属性のデフォルト値は 86400 秒 (24 時間) です。

ルール

Dell システムイベント処理のルール

Dell Client Management Pack は OMCI からのルールを処理します。これらのルールは、ルールの上書きパラメータを設定することによってカスタマイズできます。

ルールをカスタマイズするには、次の手順を実行します。

1. OpsMgr コンソールで、**オーサリング** タブをクリックします。
2. **オーサリング** ペインで **Management Pack** オブジェクト 下の **ルール** を選択します。
3. **ルール** ペインで、**Dell クライアントインスタンス** を展開し、ルールを選択します。
4. ルールを右クリックして、**上書き** を選択します。
5. **ルールの無効化**、および任意のサブオプションを選択して、ルールを無効にします。

または

ルールの上書き、および任意のサブオプションを選択して、ルール用の上書きパラメータを設定します。

また、ルールのための **上書きプロパティ** ウィンドウで、**重大度** を変更することもできます。

6. **OK** をクリックして上書きパラメータをルールに適用するか、**キャンセル** をクリックして変更をキャンセルします。

OMCI 上書きプロパティ

OMCI の警告および重要イベントにはすべて、対応するイベント処理ルールがあります。

これらの各ルールは、次の条件に基づいて処理されます。

- ・ ソース名 = 「OMCI」
- ・ イベント ID = OMCI イベントの実際のイベント ID
- ・ 重大度 = OMCI 重大度 5 以上は Dell Management Pack 重大度レベルの「重要」にマップされ、OMCI 重大度 4 以下は Dell Management Pack 重大度レベルの「警告」にマップされます。
- ・ データプロバイダ = Windows システムイベントログ

関連文書およびリソース

トピック：

- ・ Operations Manager 2007 R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン
- ・ その他の必要マニュアル
- ・ デルへのお問い合わせ

Operations Manager 2007 R2 用のパフォーマンスと拡張性に関する Microsoft ガイドライン

最適なパフォーマンスのため、異なる管理ステーションにはデバイス固有の Dell Management Pack を展開します。

拡張性に関する Microsoft の推奨については、support.microsoft.com/kb/975057 を参照してください。

 **メモ:** パフォーマンス向上のため、オートグローブオプション が Operations Manager Database で有効化されていることを確認してください。

その他の必要マニュアル

本『ユーザーズガイド』以外にも、デルサポートサイト support.dell.com/manuals から入手可能な次のガイドを参照してください。マニュアルページで、ソフトウェア > システム管理 とクリックします。右側の該当する製品リンクをクリックして、マニュアルにアクセスします。

- ・ 『Dell OpenManage Client Instrumentation ユーザーズガイド』は、Dell OpenManage Client Instrumentation ソフトウェアを使用して、リモート管理アプリケーションプログラムからクライアントシステムの情報にアクセスする方法や、クライアントシステムの状態を監視または変更する方法を説明しています。
- ・ 『Dell Client Configuration Toolkit ユーザーズガイド』は、クライアント設定ツールキット (CCTK) をインストールおよび使用して、Dell クライアントコンピュータプラットフォームにさまざまな BIOS 機能を設定する方法について説明しています。
- ・ クライアントハードウェアの『オーナーズマニュアル』は、システム、システムコンポーネントの取り付け、システムのトラブルシューティングに関する情報を提供します。

デルへのお問い合わせ

 **メモ:** お使いのコンピュータがインターネットに接続されていない場合は、購入時の納品書、出荷伝票、請求書、またはデルの製品カタログで連絡先をご確認ください。

デルでは、オンラインまたは電話によるサポートとサービスのオプションを複数提供しています。サポートやサービスの提供状況は国や製品ごとに異なり、国/地域によってはご利用いただけないサービスもございます。デルのセールス、テクニカルサポート、またはカスタマーサービスへは、次の手順でお問い合わせいただけます。

1. dell.com/support にアクセスします
2. サポートカテゴリを選択します。
3. ページの上部にある 国/地域の選択 ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
4. 必要なサービスまたはサポートのリンクを選択します。

トラブルシューティング

次の表では、既知の問題、解決策、および問題の対象をリストしています。

表 8. OpsMgr に該当する問題と解決策

問題	解決策
Dell アラートが発生順に並べられていない。	問題のある管理下システムのレジストリをチェックしてください。左側の概要定義の並べ替えフラッグが 誤 に設定されている場合があります。 場合によっては、並べ替えフラッグへの変更がすでに行われた状態で Management Pack をインポートすると、並べ替えフラッグが管理下システムのレジストリでアップデートされない場合があります。レジストリでビュー用のこれらの設定を削除すると、そのビューに再度移動した時に、これらの設定が新しい Management Pack から再作成されます。ビュー用に、レジストリで並べ替えフラッグを編集することもできます。 レジストリ編集： <pre>HKEY_CURRENT_USER\Software\Microsoft \Microsoft Operations Manager\3.0\Console\% GUID.ViewTitle%AlertsView\Age</pre> アラートの並べ替えを有効にするには、IsSortable と IsSorted キーが 1 に設定されているようにしてください。
特定の状況下で、ハンドル数しきい値 および プライベートバイトしきい値 が管理サーバーの OpsMgr コンソールに表示される。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB968760 がこの問題を解決します。
特定の状況下で、イベント ID が 623 で イベントソースが Health Service ESE Store のエラーメッセージが管理サーバーの OpsMgr コンソールに表示される。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB975057 がこの問題を解決します。
System Center Operations Manager 2007 コンソールが特定のオペレーティングシステム上でクラッシュすることがある。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB951327、KB951526 がこの問題を解決します。
次のような問題が発生する場合がある。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB954049 がこの問題を解決します。
- ウェブコンソールが開かない。 - マイワークスペース ページが表示されない。 - パフォーマンス および 電源監視ビュー が表示されない。 - 正常性サービス がシステム上で起動しない場合がある。	
管理 コンソールの レポート 領域で、レポートが正しく表示されない。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB954643 がこの問題を解決します。
正常性サービスがクラッシュしたことが原因で、OpsMgr コンソールが断続的に「正常性サービスホスト処理に問題が生じ、終了する必要があります」というメッセージを表示する。Dell デバイスの検出と監視で予期しない動作が発生する場合があります。	support.microsoft.com で参照できる Microsoft KB951526 がこの問題を解決します。
OpsMgr コンソールから Management Pack を削除しても、クライアントアラートビューとダイアグラムビューが削除されない。ユーザーがどちらかのクライアントビューを開くと、オブジェクトが見つかりません のエラーが表示されます。	OpsMgr コンソールを一度閉じてまた開きます。

問題

解決策

OpsMgr ウェブコンソールの **ダイアグラムビュー** にあるオブジェクトのツールチップが属性に関する情報を表示しない。

OpsMgr 操作コンソールに切り替えます。

ウェブコンソールの **アラートビュー** に OMCI アラートが表示されない。

OpsMgr 操作コンソールに切り替えます。

Health Explorer を使用するとき、**センサー** インスタンス下の Dell クライアント管理バック内の一部のユニット監視で、サブインスタンスがないにもかかわらず、状態が緑に表示されることがある。

これは、そのインスタンスが存在しており、ユニット監視が実行されたときに、ユニット監視が「使用不可能」状態を表示できないためです。

クライアントシステムが **クライアントの再起動とシャットダウン** タスクでシャットダウンしない。

クライアントシステムでアプリケーションが実行されていないことを確認してください。